

教育保育目標：『心もからだも健康な子ども』

- 意欲をもって行動する子ども ●豊かな感性をもった子ども ●友達と仲良く遊ぶ子ども ●丈夫で元気な子ども ●気持ちや考えを伝える子ども

こんな年もあるのかと思うほど温かな 12月でした。小春日和の日には小さな子どもたちが、冬越しをしている虫たちを枯草の中から見つけ出し捕まえる姿が見られました。(右写真)ところが、中旬過ぎから一気にお天気は冬型となり、子どもたちが待っていた白い世界が広がりました。世界的な温暖化の影響で、

子どもたちの楽しい雪遊びがどこまでできるか少し心配なところもありますが…。今年は数年続いたコロナ感染が一段落し、大きな災害や事故もなく無事に終われそうです。園の活動にご理解ご協力をいただき大変ありがとうございました。皆様、よいお年をお迎えください。



たくさんの方から日頃の子どもたち様子を観ていただくことができました

昨年度はコロナの感染者が多く12月に開催ができなかった保育参観。今回は予定通り3日間にわたり開催することができました。子どもたちと一緒に遊びや制作活動をしてもらったり、担任とお話を交わしたりする機会をもつことができました。

園では保育参観を通して子どもの姿を知っていただくことに加え、子育ての悩みや喜びなどを保育者だけでなく親御さん同士でも語り合う機会にしたいと考えています。

そんな願いに近付けた保育参観になったように思います。保護者をはじめ祖父母の皆様からもたくさんご参加いただきありがとうございました。



研修テーマ「子ども主体の遊びと生活を支える支援」 -子どもの姿から子ども理解を深め合う保育者-



研修テーマに基づく担任のプレゼンテーション

大人の働き方や家族の形態をはじめ、社会を取り巻く環境が変化しています。また、それぞれの子どもの抱える特性への適切な支援や対応など、幼児教育がますます重要視されています。



大学教授を指導者に迎えて

11月には職員全員が日頃行っている保育実践をもちより、互いに学び合う研修会を開きました。午前は研修テーマに関



写真から気持ちや成長を読み解くグループワーク

連した個人発表を、午後は持ち寄った子どもの写真をもとに、「その時の子どもの様子や気持ち、見られた成長、保育者の配慮など…」を話し合いました。最後に新潟中央短期大学の久保田教授からご指導をいただき、今年3回目の研修会を終了しました。

1日(月)	祝 元日
2日(火)	冬季休園
3日(水)	冬季休園
4日(木)	冬季休園・希望保育
6日(土)	新入園児面接・希望保育
8日(月)	祝 成人の日
13日(土)	希望保育
17日(水)	えいごであそぼう
19日(金)	食育の日

20日(土)	希望保育
24日(水)	えいごであそぼう 保育実習(~2月6日まで)
25日(木)	避難訓練 完全給食
26日(金)	園だより配付 布団・靴持ち帰り
27日(土)	希望保育
31日(水)	各種たより配付

※ 毎週木曜日にことばの相談会があります

お知らせとお願い

【コロナとインフルエンザの同時流行防止に注意】インフルエンザやコロナ等の園内感染拡大防止にご協力をお願いします。

- インフルエンザの際は発症した日の翌日から 5 日間が経過し、なおかつ解熱した後 3 日経過してから登園可
- コロナの際は発症した日の翌日から 5 日間が経過し、なおかつ症状が軽快した後 24 時間程度経過してから登園可
- インフルエンザ、コロナとも同居家族が感染した場合は、園児の登園を控えてください。

「第2回田上町のアウトメディアウィーク」を終えて

スマホやタブレットが急速に子どもの世界に入っています。気が付いた時にはすでに依存状態が進み、体や心といった健康面や、家族や社会といった人間関係にまで問題を抱える子どもが多くなっているようです。

最近では依存による生活の乱れだけではなく、子どもの脳の発達に悪い影響が出ているという研究結果が報告されました。メディアと上手な付き合い方を幼児のうちから身につけさせたいものです。「もう親が言っても聞かないのですが、どうしたらいいでしょうか?」となる前に…。

【アウトメディアウィーク(4・5歳児対象) 保護者の感想】

- 兄弟がスマホやゲームをすることが多いですが、アウトメディアウィークだということで協力してもらいました。この取り組みがないと中々アウトメディアにすることは難しいです。
- 絵本を読んでゆっくり楽しく過ごせてよかった。
- メディア以外にも今は楽しめることがたくさんあるようです。
- この取組の時は子どもの方が「見ちゃダメだよ」と大人を注意するようになっていました。
- 暇があるとすぐ「ゲームがやりたい」「ユーチューブ見たい」が口癖でしたが、家族全員で意識して取り組むことでメディアがなくても満足して遊んだり時間を使えたりしていた。
- 練習する時間ができました。
- 望ましい生活習慣を送るために必要な取り組みと考えます。来年には小学生になるので家族団らん中に生まれたルールを決め楽しく過ごす時間を大切にしていきたいです。
- 兄弟で体を動かして楽しそうに遊んでいました。
- 知らず知らずのうちに、忙しい日々の中、テレビやタブレットを渡してしまいがちです。日頃から気を付けたいと思う。
- 家族で遊んだりする時間が増えました。
- 今は年齢が小さいので親がルールを決めていますが子どもなりに意識している様子が見られました。
- メディア 2 時間以内を家族で意識して取り組みました。

ほいくの窓 ※このコーナーは特別支援教育部が担当しています

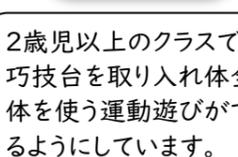
~ケガから身を守るための体づくり~

子どもは遊びの中で元気に身体を動かして、運動機能を発達させていきます。遊びの中でのケガは避けては通れないこともありますよね。しかし、転ぶなどで小さなケガをすることを積み重ねることによって子どもはケガから身を守ることを学んでいます。

運動機能の基礎は乳児期に獲得すると言われています。乳児期は身体の動きが大きく成長していきます。その中でもハイハイは子どもの成長において大切な成長過程です。ハイハイをすることで首や腕などが鍛えられ、転んだ時に手をついて大切な頭を守る動作につながっていきます。幼児期は、身体の使い方を自然に身につけられる時期であり、運動遊びから運動機能の基礎を身につけていきます。乳児期のハイハイ期を過ぎてしまっても遅くはありません。



0~1歳児クラスではハイハイを十分に経験できるように環境を設定しています。



2歳児以上のクラスでは、巧技台を取り入れ体全体を使う運動遊びができるようにしています。

日常生活の中で、歩く、階段を上などの足を使う動作はたくさんありますが、腕を使う動作は限られてしまいます。親子で触れ合いながら腕の動きを身につけていくこともできる遊びを2つ紹介します。

- 1、お家の人の股の間をハイハイの体勢でくぐる。(写真①)
- 2、お家の人の体をよじ登る。(写真②)



遊びながら、楽しみながら、園の目標にもある『心もからだも健康な子ども』にすくすくと育ててほしいと願っています。